

留学先：天主教輔仁大学

氏名：墨崎有美

1. 自己紹介

大家好。はじめまして。福井大学 国際地域学部 国際地域学科 グローバルアプローチ 3年、墨崎有美です。2018年3月～2019年2月の約12ヶ月間、台湾の天主教輔仁大学で交換留学へ行きます。GCS 一期生として、今後の交換留学の土台を作るとともに、自分を見つめなし、1年間で人として大きく成長できるよう、精一杯頑張りたいと思います。

2. 留学先大学紹介

天主教輔仁大学は、台北の郊外の新北市にあるカトリック教系の大学です。世界大学ランキングにもランクインする有名大学で、私立大学の中ではトップクラスとして知られています。大学周辺には多くの飲食店があり、低価格で美味しいご飯をお腹いっぱい食べられます。大学の目の前に MRT 輔大駅があるため、台北周辺へのアクセスは大変便利です。



3. 留学生活

私は、外国語學院 日本語文學系に所属し、春学期は6科目プラス、夜間の中国語の授業を週6時間受けます。楽しい留学生活については、他の交換留學生が書いてくれると思いますので、私はあえて辛い留学生活について書きたいと思います。しかし、これは負けず嫌いな私の性格上での辛さでしかないと思います。留学に来て1週間で、私は自分自身に絶望しました。正直、英語圏以外への留学をなめていました。私が中学から学んできた英語は台湾では役立ちません。ここで必要とされるのは中国語です。もちろん、英語が話せる學生がほとんどです。しかし、それは大学内だけの話です。大学の外に出れば私は學生ではなく、ただの観光客と同じでした。一人では何もできません。ご飯を買いに行き、お店の人が私に話します。私はもちろん分かりません。相手は不思議そうな顔をします。私の見た目は台湾人と大差ないため、中国語が話せないとは思われないからです。私は、それがすごく嫌でした。話せない自分がすごく惨めに感じました。私は、人と話をするのが好きなので、思うように話せない状況がもどかしくてたまりません。しかし、私の周りには中国語を学んできた留學生ばかりでみんな中国語での会話ができます。私だけが取り残されているように感じてしまいました。最近では、自分の中で、英語を話すのは逃げのように感じています。台湾留学の目的は中国語の習得でしたが、スタートの低さがとても辛く、自分が日本で何も準備をしてこなかったことをすごく後悔しています。今の私は、言葉の話せない赤ちゃんとは大差ありません。吸収率の悪さを考える



とそれ以下かもしれません。留学に来て1ヶ月が経ちましたが、そんな簡単に言語は話せるようにならないという現実も突きつけられました。本気の努力が必要です。まだ1ヶ月ともいえるし、もう1ヶ月ともいえます。今、自分が何をしなければならないかしっかり考えて、4月は頑張ろうと思います。もちろん、楽しいこともたくさんあるので、心配はしないでください。